

(9)桑納川・石神川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽構造を基本とし、桑納川は複断面とします。護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息に配慮し自然素材を用い自然な水際になるようにします。

桑納川は、その沿川が水田として主に利用されており、普段は人も少ないことから、高水敷を緩傾斜として水際にヨシ原の造成を行い、動植物の生息・生育に配慮した改修とします。

桑納川と石神川に設ける調節池は、関係機関や自治体との調整を図り、内部をビオトープや公園等として積極的な利用を図ります。

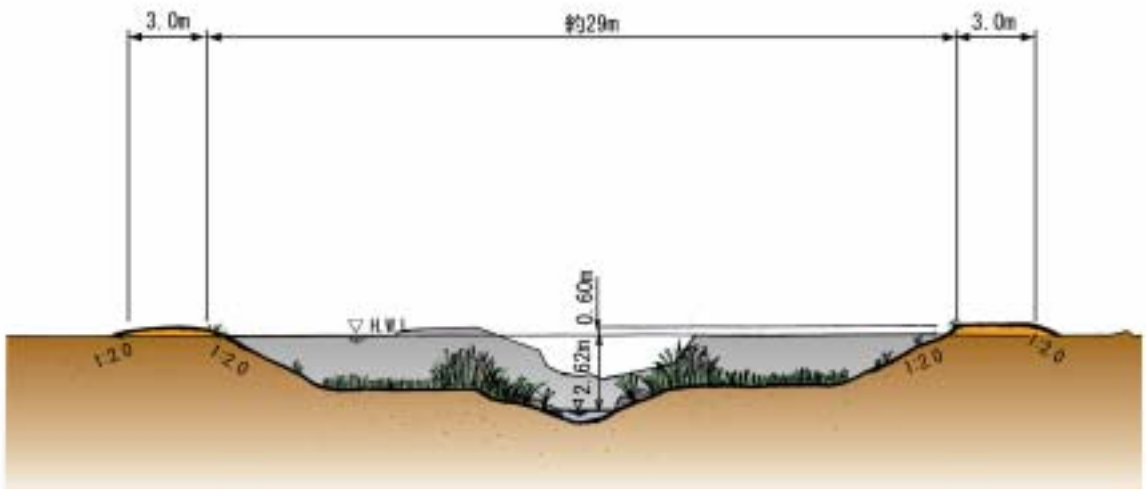
桑納川

- ・ 施行区間 印旛放水路合流点～最上流の市道橋
- ・ 延 長 L=5,400m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅，調節池

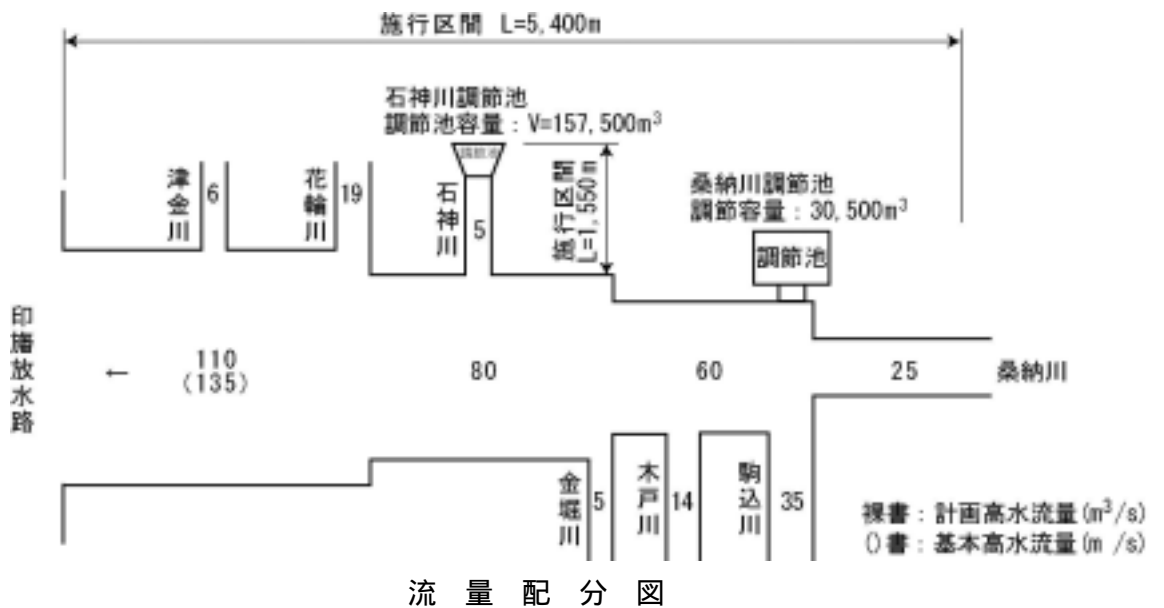
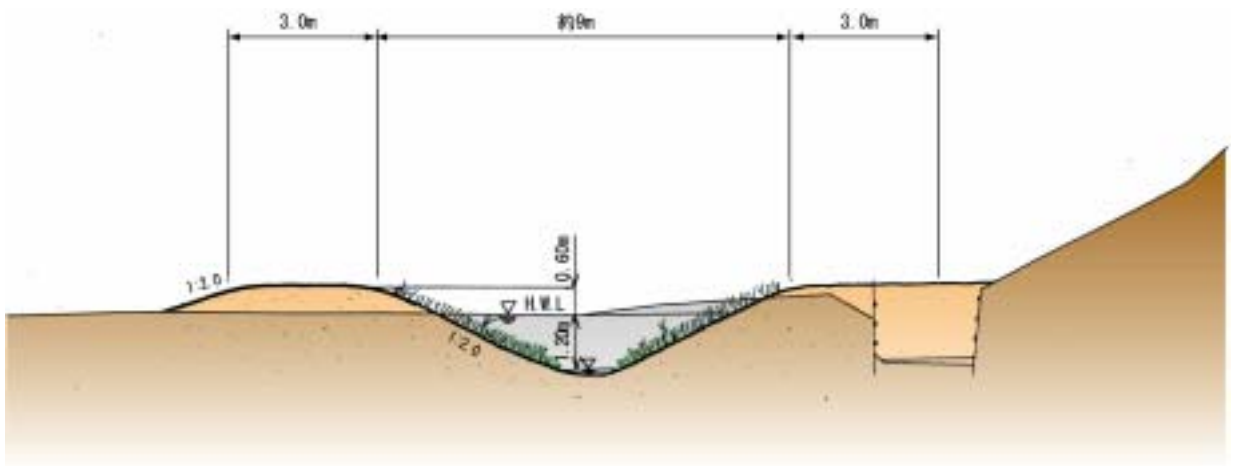
石神川

- ・ 施行区間 桑納川合流点～石神川調節池
- ・ 延 長 L=1,550m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅，調節池

石神川合流点～木戸川合流点（桑納川）

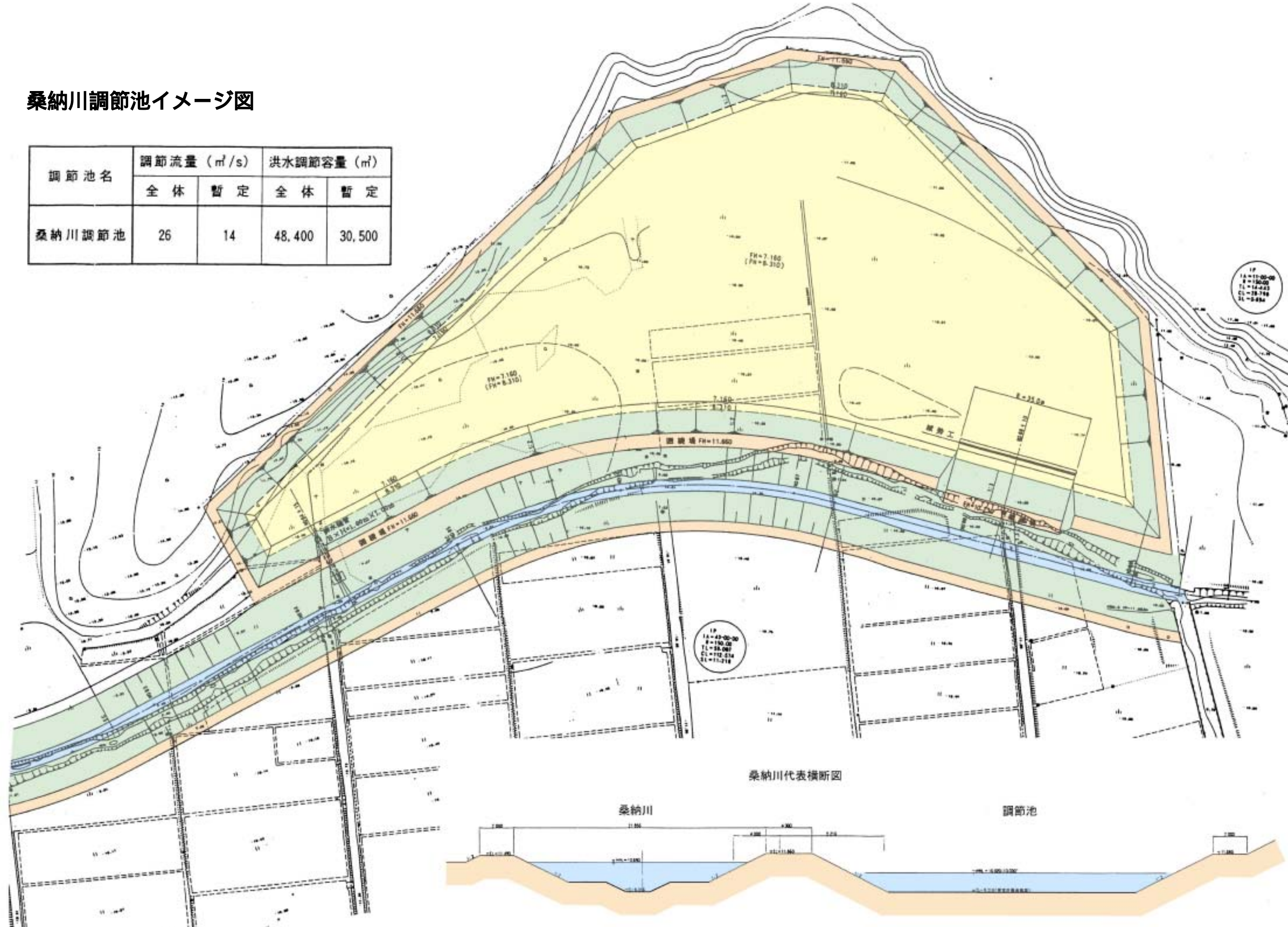


桑納川合流点～石神川調節池（石神川）



桑納川調節池イメージ図

調節池名	調節流量 (m ³ /s)		洪水調節容量 (m ³)	
	全体	暫定	全体	暫定
桑納川調節池	26	14	48,400	30,500



61



桑納川 施行区間位置図

1 : 50,000

